

ミシシippアカミミガメによるウシガエルの捕食事例

山口達成¹・上野真太郎^{2,3}

¹ 631-8505 奈良県奈良市中町3327-204 近畿大学農学部漁業生産システム研究室

² 113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻

³ 653-0844 神戸市長田区西代通1-1-5-504 株式会社自然回復

Predation on bullfrog (*Lithobates catesbeianus*) by red-eared sliders (*Trachemys scripta elegans*).

By Tatsunari YAMAGUCHI¹ and Shintaro UENO^{2,3}

¹ Laboratory of Fishery Production System, Faculty of Agriculture, Kindai University, 3327-204, Nakamachi, Nara, 631-8505, Japan.

² Department of Ecosystem Studies, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, 1-1-1 Yayoi, Bunkyo, Tokyo, 113-8657, Japan.

³ Nature Recovery Co.Ltd., 1-1-5-504, Nishidai-dori, Nagata, Kobe, Hyogo, 653-0844, Japan.

ミシシippアカミミガメ(以下アカミミガメ)は北アメリカ原産の外来種で、近年、日本各地でその生息が確認されている。今回、篠山城跡のお堀(兵庫県篠山市北新町)にてアカミミガメによるウシガエルの捕食行動を観察したので報告する。2017年7月24日16時頃、背甲長6~7cm程度のアカミミガメが、水面近くに留まっていた体長3~4cm程度のウシガエルを襲い、捕食した(図1)。ウシガエルは泥が堆積し、お堀内に沈んでいた植木鉢の割れ目にいたが、アカミミガメはそこからカエルを水中へと引きずり込んだ。そして、何度も噛みつき、肉を引きちぎるような素振りを見せていた。



図1. ウシガエルを捕食するアカミミガメ(丸で囲った部分)。捕食される前、ウシガエルは▲の位置にいた。

原産地北アメリカでは、孵化後1年以内の幼体期には動物質の餌を主に摂食するが、成長するにつれて植物質の餌に変化するとされている。しかし、成体は植物質の餌ばかりを食べるわけではなくカエルの卵、両生類の幼生、成体も食べるとされている(Ernst and Lovich, 2009)。日本におけるアカミミガメの食性については上野他(2014)によりまとめられているが、それによるとカエル類の捕食記録はない。今回の事例から日本においても両生類であるウシガエルがアカミミガメの捕食対象生物であることが分かった。在来のカエル類もアカミミガメによって捕食されている可能性がある。

引用文献

Ernst, C. H. and J. E. Lovich. 2009. Turtle of the United States and Canada (2nd ed.). The Johns Hopkins University Press, Maryland. 827 p.

上野真太郎・笹井隆秀・石原孝・谷口真理・三根佳奈子・亀崎直樹. 2014. 日本に産するカメ類の食性(総説). 爬虫両棲類学会報 2014(2): 146-158.